

第5号議案

四郷まちづくりのあゆみ

四郷駅周辺土地区画整理事業が終了し、区画整理組合が解散する際、まちづくりの経緯を後世に残すために冊子を作成し、関係住民に配布することとなりました。令和5年に組合が解散したため、下古屋自治区に編さん業務の依頼とそのための資金が提供されました。

1 出版の目的

まちづくりの経緯を住民に広く知ってもらうことで、まち（地域）の歴史への興味を喚起し、地元への愛着を深め、まちの将来への関心を高める。

2 編さん作業

区画整理事業関係者代表と自治区役員、オブザーバーとして豊田市の担当部署の協力をいただき、編さん委員会を組織し、編さん専門業者（毎日新聞名古屋開発(株)）と連携し編さん作業をすすめた。

3 概 要

四郷駅周辺において、先人たちが町の発展・住みよい地域づくりのためにどのような取り組みを進めてきたのか、資料や写真、回顧談などで紹介し、記録として残す。

- ・ A4版カラー64ページ 印刷部数：700部（予定）
- ・ 冊子のタイトル「四郷まちづくりのあゆみ（よりよい我がまちをめざして）」
- ・ 配布先 区画整理関係者、四郷地区住民 ほか

4 制作期間

令和5年 5月	制作準備開始
令和5年 10月	毎日新聞名古屋開発(株)と契約締結
令和6年 12月	最終校正案提出
令和7年 3月	納品予定

5 経費の収支

寄付金額 865万円（契約金額8,481,000円＋諸経費169,000円）

寄 付 受 領	令和5年 10月	8,650,000円
契約締結時支払い	令和5年 11月	1,696,200円（契約金額の20%）
中間金支払い	令和6年 9月	3,392,400円（契約金額の40%）
利息（5年～7年）		358円
残 額	令和7年 3月	3,561,758円（納品時に支払い予定）